

令和7年度 第2回 お茶の水小学校・幼稚園 運営協議会 議事録 (HP 掲載用)

日時：令和8年2月27日(金) 17:30～18:30

場所：お茶の水小学校

出席者：運営協議会委員、校長、副校長、副園長、教職員

1. 学校長より (成果と課題の共有)

■ 今年度の主な成果

- 子どもたちが落ち着いた学校生活を送り、行事も温かい雰囲気を実施できた。
- 朝会での姿勢や態度がよく、6年生を送る会も気持ちのこもった会となった。
- 幼稚園では、子どもが主体的に活動し、仲間を大切にする姿が育っている。

■ 課題と改善に向けて

- 各種アンケートで「思わない・あまり思わない」の回答があった項目の改善が必要である。
 - 教職員評価では、就学前教育カリキュラムの連携や環境整備などが課題である。
 - 「主体的に学ぶ授業づくり」への保護者・教員双方の認識向上が必要である。
 - 不登校への対応強化。多様な要因を踏まえ、家庭と連携しながら支援を継続する。
 - 通学路の安全指導と保護者への周知徹底を図る。
 - 外国語科における学びの理解度向上を図る。
 - いじめ防止意識の定着に向け、言葉づかいや名前の呼び方等、指導を徹底する。
-

2. 標準服・体操服・園服について

- 小学校：体操服に長袖・長ズボンの導入を検討。色は指定方向で調整する。
 - 幼稚園：来年度より新しい園服デザインに変更（生地終了のため）。
 - 保護者からは「ある程度の指定があった方がよい」との意見が多く寄せられた。
-

3. 通学路の安全について

- 決められた通学路を通らない児童がいるとの指摘があった。
 - 見守り隊（誘導員）配置場所の周知や家庭との連携が必要との意見が多数あった。
 - 住所・電話番号を覚えられない児童が増えている点も課題として共有した。
-

4. 人権尊重教育について

- 教員自身の人権意識向上の重要性について意見があり、校長より改善に向けた取り組みを説明した。
 - 不登校への対応や教員の言動などについて、人権の視点を踏まえた議論が行われた。
 - 11月20日に東京都教育委員会 人権尊重教育推進校の研究発表を実施する。
-

5. 特別な支援を要する児童への対応

- 「多層指導モデル MIM」の活用状況を共有。今年度は特別支援教室や個別支援で使用されている。

- 低学年期の細やかな支援の必要性について意見が出され、活用拡大が期待された。
-

6. 地域との連携

- 各同窓会長（地域の皆様）から地域行事（こども会、餅つき大会、社明パレード等）に児童が積極的に参加しているとの報告があった。
 - 今後も地域の方々との協働を深めたいとの意見が多く出された。
-

7. その他の意見

- 自転車乗車時のヘルメット着用の徹底を呼び掛けてほしい。（事件事例を受けて）。
 - お茶会（6年茶道）での子どもの主体的な姿が紹介され、言葉だけでなく視覚的支援の重要性が共有された。
 - コミュニケーション力の育成を継続して指導していくことを確認した。
-

8. 副校長より

いただいた貴重なご意見を今後の学校運営に活かしていく旨を伝え、閉会。